

Volume 004

男たちよ

目覚めなさい

安易な宣言は
終わりの始まり

Theme

イラスト/ユリコフ・カワヒロ

み

なさま、ごきげん
よう。もつべきもの
は友、ださうです。

人生から友を除くのは世界から太陽を除くに等しい、と古代ローマの哲学者キケロも語っています。だからこそ、でしょうか、しばしばSNSなど

で友情の詩示が見られます。「心友(しんゆう)」「魂友(たまとも)」という仰々しいことばとセットで友自慢が繰り返られることすらあります。男性の場合、ここにさらに「兄弟同然」が加わります。そんな友と出会えて、幸運でしたね。よかったですね。不思議なのは、その一年後、早くて半年後、両者はどうやら他人として互いに圏外のこと、ここで活動しているらしいという事実が明白になることです。ともすると、どちらかが性感りもなく新しい人との「心友」「アピール」をしていたりして、「心」や「魂」のなんと軽いことかと苦笑を禁じえなかります。

- 1 第10回ジャパンシガーアワードを受賞した写真家の立木道浩さん(中央)と日本葉巻協会代表理事を務め、本イベントの主催者でもある辻厚成さん(右)。
- 2 テラスでは「ダビッドフ」を筆頭に「コイバ」「ペリコン」など、愛好家にはたまらないシガーが振る舞われました。
- 3 ホテルニューオータニの庭園を眺めながらの一瓶は至福です。



MONTHLY MAGAZINE
 1982年10月号

LEON Journal

Culture & Entertainment Culture



友と盛り上がった勢いでその絆をアピールしたくなるお気持ちにはわからないでもありません。しかし、法的な絆でもない関係を誇示することには多くのリスクがともないます。まずは、関係が解消ないし薄散（多くの場合これでしょう）してしまった時、両者の言動の軽さ薄さが浮き彫りになり、周囲から警戒および軽視されてしまうリスク。次に、親しいと思っていたのに「心友」呼ばわりされなかった別の友人の不興や不信を買ってしまふリスク。いずれにせよ、特定の人との軽はずみな「心友」「魂友」宣言は、当座の虚栄心の満足と、将来にわたる社会的な信用を天秤にかければ、控えるほうが賢明といえます。そもそも互いに本気でそのように信じ

あつていれば、世間に対して公言する必要もないはずですから。

友情にかぎらずほかの人間関係においてもですが、大きな表現の交換よりもむしろ、小さな約束を確実に守り合っていくほうが、長期にわたって安定した強い関係を築くことができ、ひいては社会的信用にもつながります。サステイナブルな社会生活を送り続けるためにこそ、「心」や「魂」を安易にもち出さないということですね。

女性が深く魅了されるのも、実はコントロールの効いた控えめな情熱の持ち主であることが多い。「永遠」「魂」「命」という重たく熱い言葉を乱発する男性は、まあ、わかりやすくて楽しいですが、逆に言えば底が透けて見えます。行動は愛情を示しているのに、それに比して言葉が控えめ、という男性の情熱を、もどかしく想い、なんとか証を掴もうとのめりこんでいく女性の心理に「目覚めなさい」

Profile

グローバル化が進む社交界事情にも通じる、密かな趣味は人形観察とコスプレ、好きな飲み物はモンラッシュェ。日本ではほとんど知られていない、ある小国の女王とのウワサも?



カトリーヌ10世
 Catherine X